

# Cisco Voice Portalの権限昇格の脆弱性



アドバイザリーID : cisco-sa-20080521-cvp [CVE-2008-](#)

初公開日 : 2008-05-21 16:00

[2053](#)

バージョン 1.0 : Final

CVSSスコア : [9.0](#)

回避策 : No Workarounds available

Cisco バグ ID :

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

## 概要

Cisco Unified Customer Voice Portal(CVP)には、認証されたユーザがスーパーユーザアカウントを作成、変更、または削除できる脆弱性が存在します。シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェアアップデートをリリースしています。

このアドバイザリーは、

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20080521-cvp> で公開されています。

## 該当製品

### 脆弱性のある製品

4.0.xリリースでは4.0(2)\_ES14より前のCVPソフトウェアバージョン、4.1.xリリースでは4.1(1)\_ES11に脆弱性があります。

注 : ソフトウェアリリース3.xおよび7.0(1)を実行しているCVPシステムには脆弱性はありません。

### 脆弱性を含まないことが確認された製品

ソフトウェアリリース3.xが稼働しているCVPシステムには脆弱性はありません。バージョン7.0(1)以降を実行しているCVPシステムには脆弱性はありません。他のシスコ製品において、このアドバイザリーの影響を受けるものは現在確認されていません。

## 詳細

Cisco Customer Interaction Networkソリューションの一部であるCisco Unified Customer Voice Portal(CVP)は、顧客の音声およびビデオセルフサービスの統合を提供します。CVPを使用するこ

とで、組織はインテリジェントでパーソナライズされたセルフサービスを電話で提供でき、顧客は必要な情報をコンタクトセンターから効率的に取得できます。

CVPには、スーパーユーザ、管理者、読み取り専用アクセスという3つの異なるユーザロールがあります。この脆弱性はCVPに存在し、管理者ロールを持つユーザがスーパーユーザアカウントを作成、変更、または削除でき、スーパーユーザアカウントのシステム権限が大きくなっています。

この脆弱性は、Cisco Bug ID [CSCsj93874](#) (登録ユーザ専用)として文書化され、Common Vulnerability and Exposures(CVE)IDとしてCVE-2008-2053が割り当てられています。

## 回避策

この脆弱性に対する回避策はありません。

## 修正済みソフトウェア

この脆弱性は、4.0.xリリースのCisco Unified Customer Voice Portal(CVP)ソフトウェアバージョン4.0(2)\_ES14、41.xリリースの4.1(1)\_ES11、および7.xリリースの7.0(1)で修正されています。

CVPソフトウェアバージョン4.0(2)\_ES14は、<http://www.cisco.com/pcgi-bin/tablebuild.pl/36833091037661f49ad8152368c22bbf>からダウンロードできます。

CVPソフトウェアバージョン4.1(1)\_ES11は、<http://www.cisco.com/pcgi-bin/tablebuild.pl/946b57654c80187da8c3cfc0aa02866e>からダウンロードできます。

アップグレードを検討する場合は、<http://www.cisco.com/go/psirt> と後続のアドバイザリも参照して、問題の解決状況と完全なアップグレードソリューションを確認してください。

いずれの場合も、アップグレードする機器に十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成が新しいリリースで引き続き適切にサポートされていることの確認を十分に行ってください。情報に不明な点がある場合は、Cisco Technical Assistance Center (TAC) または契約を結んでいるメンテナンスプロバイダーにお問い合わせください。

## 推奨事項

```
$propertyAndFields.get("recommendations")
```

## 不正利用事例と公式発表

Cisco PSIRT では、本アドバイザリに記載されている脆弱性の不正利用事例やその公表は確認しておりません。

この脆弱性はシスコの製品テストで発見されました。

## URL

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20080521-cvp>

## 改訂履歴

リビジョン 1.0	2008年5月21日	初回公開リリース
-----------	------------	----------

## 利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。